

葉色の低下が止まらない！

緊急警報

JA 佐渡 R7.7.23

2回目の穂肥、耐暑肥を施用してください！！

葉色が低下しすぎると、稲が肥料を吸う活力もなくなり、葉色が回復しない場合があります！

佐渡地区(平年値5月5日植えの場合)にて出穂期平年値 8月6日 を基準に、暑さにより2日程度早くなる見込みにて施用適期は ※以下の予想

コシヒカリの場合

2回目 穂肥適期予想 7月25日頃

耐暑肥施用適期予想 7月29日～8月1日頃まで

※田植え日、生育速度により前後します。その場合は施用日を調整願います。

- ① 気温が高く、雨が無い予報が続く、稲の消耗が激しい状況です。
- ② 7月18日の稲作生育速報(普及C)でSPAD値が30.2(指標値は33)と現在も下降中。
- ③ 田植え日や地力、気象により育つ速度や生育段階の大きな差がほ場の内でも発生。
- ④ 用水が無くなり、入水が難しい地域が出てきています。ドローン所有者へ依頼できる場合は、液肥散布での施用をお願いします。肥料が溶ける浅水程度あれば良く、また用水の無いほ場でも、僅かな通水、急な雨天に備えて事前に追肥を実施してください。
- ⑤ 適期の施用によって、草丈の節間伸長への影響を抑えましょう。

★ 用水が貴重な状況のため、給水口の開けっ放しはせず、通水に合わせて開閉してください。

葉色 SPAD 値	緊急度	施用量(チツソ成分)	備考
■ 30以下 ■	各適期に必ず実施	1.0kg/10a	一発基肥の場合は同量または調整する
■ 25程度 ■	今すぐ施用	1.5kg/10a	

換 算 量	肥料名 \ SPAD値	■ 30以下	■ 25程度	備考
	越後の輝き有機50穂肥	10kg	15kg	化成50%
	みらい有機 831	約13kg	約19kg	100%有機
	※コロン(ドローン用液肥)	0.97ℓ	1.45ℓ	化成100%

※ 5割減に取り組んでいる場合は合計化学窒素量の上限に注意する。

コロンは上記量にて他肥料基準と同等効果。散布時は2倍希釈して使用してください。

葉色が下がり続けると

- ① 乳心白粒の増加による品質の低下
- ② 稲体活力の低下による不稔や充実不足による収量の低下
- ③ 茎が弱り、風等の影響による倒伏助長
- ④ 栄養不足により暑さに耐えきれず、最悪の場合枯死する



★ 農作業時はこまめな水分補給・休憩で熱中症を予防しましょう！ ★